

外務省海外安全情報（危険情報：抜粋）

ルワンダへの渡航を予定される皆様へ

発出日：2025年2月04日（一部地域引上げ）

ルバブ郡からニャビフ郡までのコンゴ民主共和国との国境地帯	〔レベル3〕 「渡航は止めてください。（渡航中止勧告）」（引き上げ） その国・地域への渡航は、どのような目的であれやめてください。 （場合によっては、現地に滞在している日本人の方々に対して退避の可能性や準備を促すメッセージを含むことがあります。）
ムサンゼ郡のコンゴ民主共和国との国境地帯	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（継続） その国・地域への不要不急の渡航は止めてください。 渡航する場合には特別な注意を払うとともに十分な安全対策をとってください。
ルシジ郡のコンゴ民主共和国との国境地帯 （キブ湖内の島しょ、カメンベ空港を含む）	〔レベル2〕 「不要不急の渡航はやめてください。」（引上げ）
その他の地域	〔レベル1〕 「十分注意してください。」（継続） その国・地域への渡航、滞在に当たって危険を避けていただくため特別な注意が必要です。

【ポイント】

- 2025年1月下旬、ルバブ郡と国境を接するコンゴ（民）東部の北キブ州の州都ゴマが反政府武装勢力に掌握されたほか、激しい戦闘で民間人にも多数の死傷者が出ており、砲撃が国境を越えてルワンダへも飛来するなど、混乱しています。特に、コンゴ（民）と接するルバブ郡ギセニからニャビフ郡までのコンゴ（民）との国境地帯への渡航は、どのような目的であれ止めてください。
また、ムサンゼ郡のコンゴ（民）との国境地帯についても国境線のコンゴ（民）側は武装勢力の活動地域で、地元住民に対する殺害、誘拐等が日常的に発生しています。
- ゴマを掌握した反政府武装勢力は、更に衝突を繰り返しながらキブ湖に沿って南進中で南キブ州の州都ブカブを目指すとの情報もあります。ブカブはルワンダ西部と陸路で国境を接しており、同地域の緊張が急速に高まっており今後国境を越えて混乱が発生する恐れがあります。
- その他の地域においても、事件・事故に巻き込まれないために、日没後は不要不急の外出を控えるなど、十分注意してください。

【概況】

(1) 治安について

ルワンダ政府は治安維持対策に積極的に取り組んでおり、ルワンダの治安情勢は比較的安定していますが、2020年5月には首都キガリ市において手榴弾を使用した襲撃事件、2022年6月にはブルンジとの国境に近いニュングウェ国立公園内においてバスが襲撃される事件も発生しており、安全には十分な注意が必要です。

また、西部ルバブ郡と国境を接するコンゴ（民）東部周辺では、これまでも武装勢力間の衝突が繰り返され、過去にはコンゴ（民）側からの流れ弾による負傷、兵士のルワンダ越境等があったところ、2025年1月下旬から情勢が急激に悪化し、コンゴ（民）北キブ州の州都ゴマが反政府武装勢力に掌握されたほか、民間人にも多数死傷者が出ています。

(2) テロ・誘拐について

現在のところ、ルワンダにおいて、テロ・誘拐による日本人の被害は確認されていません。テロはどこでも起こり得ること、日本人も標的となり得ることを十分に認識し、テロ・誘拐に巻き込まれることがないように、「たびレジ」、海外安全ホームページ、報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切かつ十分な安全対策を講じるよう心掛けてください。

※外務省海外安全情報（危険情報）の詳細につきましては、

外務省海外安全ホームページ： <http://www.anzen.mofa.go.jp>
<http://m.anzen.mofa.go.jp/mbtop.asp>（携帯版）にてご確認ください

または、
外務省領事サービスセンター 電話：（外務省代表）03-3580-3311（内線）2902, 2903
外務省領事局海外邦人安全課（テロ・誘拐関連を除く） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）2306
外務省領事局邦人テロ対策室（テロ・誘拐関連） 電話：（代表）03-3580-3311（内線）3047
までお問い合わせください。

弊社では海外安全情報が発出された場合、原則として〔レベル1〕「十分注意して下さい」までの地域、国についてツアーを実施しており、ツアー実施にあたりましては、現地情報を十分把握し、安全で円滑な日程となる様配慮して運行管理を行っております。